

審議内容

《開催結果の概要》

- ・事務局から令和3年度城陽市水道事業会計決算の報告（資料番号1）及び令和3年度城陽市公共下水道事業会計決算の報告（資料番号2）を行った。
- ・城陽市水道事業ビジョンの進捗状況の報告（資料番号3・清水委員からの事前指摘事項）及び城陽市下水道事業ビジョンの進捗状況の報告（資料番号4・城陽市下水道事業ビジョン期間中の財政計画）を行った。
- ・その他 城陽市上下水道事業経営審議会委員の改選について

《進行》

- 事務局： ・配付資料等の確認
副市長： ・開会の挨拶
会長： ・会長挨拶

《令和3年度城陽市水道事業会計決算及び令和3年度城陽市公共下水道事業会計決算について報告》

- 事務局： 資料番号1・2について報告と説明
会長： 質問はあるか。
委員： 資料2の2ページ内、資本的収支の状況における、補填財源について説明されたい。
- 事務局： 現金として足りていない形になっているが、消費税及び地方消費税資本的収支調整額及び3条の収益的収支内の減価償却費や資産減耗費等の支出を伴わない費用でまかなっている。
令和2年度までは補填しきれていなかったが、令和3年度は料金改定により、3条の収益的収入が拡大し、3条から補填できるようになった。
なお、水道事業会計では今まで資金不足が生じていなかったが、公共下水道事業会計では資金不足が生じており、今まで利益が少なかったため、資金不足が拡大していた状況である。
- 委員： 了。
- 副会長： 決算についての説明のため、次回から損益計算書、貸借対照表等の数字での資料で前年度比較ができるような資料を作成されたい。
- 事務局： 了。
- 委員： 資料番号1の4ページにおいて、経営指標の項目の計算方法がイメージではわかるが、元の数値がわからないため、それがわかる資料や計算項目がわかる資料をいただきたい。

審議内容

事務局： 了。

《城陽市水道事業ビジョン及び城陽市下水道事業ビジョンの進捗状況について報告》

事務局： 資料番号3・4について報告と説明

会長： 質問はあるか。

委員： ビジョンの進捗状況等にアウトレット開業が1年遅れることを踏まえられているか。

事務局： 商業施設における料金・使用料の収入について、微減になる程度であり影響がないが、今後、水道事業ビジョンの中間見直しのなかで反映する予定である。

会長： 資料番号3内の項目「評価」は第三者ではなく、市の自己評価となっているため、項目名のネーミングを変えたほうがよいと思われる。

事務局： 項目名を「評価」から「自己評価」へ変更する。

副会長： 資料3の進捗状況等に記載の評価はビジョンの前期計画期間についての評価か。

事務局： おっしゃるとおり。水道は令和3年度が計画の中間地点のため、前期の総括として評価等を行っている。下水道はビジョンを策定したところのため、指標のみの案内となる。

委員： 資料番号3の5ページ「持続－6 財政基盤の強化」⑪について、水道料金の見直しを行うということか。

事務局： コストが上がっているため、資金面でまかなえなければ、料金を上げざるを得ないと考えている。

委員： 現在、電気料金が上がっているため、水道等についても同様にコストが上がっていると考えられる。仮にこのままの状況が続けば、ビジョンにおける計画の見込みが成り立たないくらいになってしまうかもしれない。

事務局： コストや料金見直しの話が出たため、ここで同様の内容を事前にご指摘くださった清水委員の指摘事項について説明する。

会長： 電気料金はじめ、コストが上がり、ビジョン策定当初に見込んでいなかった状況になっているため、コスト高を踏まえた軌道修正を早急に行う必要がある。

委員： 資料番号1の8ページ内にも令和3年度において、受送水費が大幅に上がったことにより、給水単価が供給単価を上回ったことがわかることから、やはりコスト面を含め対応を検討されたい。

事務局： 了。

審議内容

《その他 城陽市上下水道事業経営審議会委員の改選について》

事務局： 城陽市上下水道事業経営審議会の現任委員任期が令和5年3月31日をもって満了となるため、次期委員の改選について説明する。

次期任期においては城陽市水道事業ビジョンの中間見直しを行うため、改選の際は委員の構成人数を増やすことを検討している。

会長： 質問はあるか。

副会長： 令和3年度は女性委員が入っていなかったか。または、女性委員が入っていたのは前任期である令和2年度以前であったか。

事務局： 女性委員が入っていたのは前任期である。

《進行》

事務局： 事務局より翌年度の審議会スケジュール等の説明

上下水道部長： 閉会のあいさつ

事務局： 散会